

地域ぐるみで行う津波避難訓練

鶴岡市、酒田市、遊佐町

1833年の庄内沖の地震、1964年の「新潟地震」に伴い、庄内地域の沿岸部では、津波や地震の揺れ、地盤の液状化現象などで、死者を含む大きな被害が発生しました。過去にこのような津波災害の経験を持つ鶴岡市、酒田市、遊佐町の沿岸地域では、県が公表した津波浸水想定・被害想定や、市や町が作成した津波ハザードマップを基に、「何としても人命を守る」という考え方で、様々な防災の取組みを行っています。

その一つが津波避難訓練です。夏の海水浴シーズンと秋に、自主防災会や学校など多くの地域の方々が参加して、地域ぐるみで訓練を行っています。



市・自治会・小学校が共に避難訓練を実施
(酒田市浜中地区 (平成29年6月30日))